

◎市長（山田憲昭君）

新たな洪水ハザードマップの作成についてお答えをいたします。

本年5月、本市が協力し、民間が発行いたしました白山市総合防災マップ保存版が全戸配布をされました。この冊子は、ことし3月に河川管理者である国及び県が想定し得る最大規模の降雨を想定して発表したデータを反映いたしたものとなっております。

ただ、この白山市総合防災マップ保存版の避難場所は従前のものであり、想定し得る最大規模の今回のデータに対応いたしておりません。

洪水のハザードマップには、避難施設も表示する必要があり、現在、新たな想定で影響を受ける可能性のある避難施設等の見直し作業を行っております。この作業が終わり次第、最新版の白山市洪水ハザードマップを作成いたしたいと思っております。

最新版の白山市洪水ハザードマップは、想定最大規模の降雨量に基づき、平成29年度に国土交通省から公表された手取川の洪水浸水想定区域図と、本年3月までに県から公表されました高橋川、安原川及び犀川の洪水浸水想定区域図を反映して、浸水の範囲や深さを色別に表示をいたすというところであります。

また、居住地域の浸水情報や避難施設、避難経路を確認しやすいよう、市内平野部の各地区別に作成をいたしたいと思っております。

なお、配布につきましては、来年度のなるべく早い時期に全戸にお届けをしたいというふうに考えております。